

社協情報 ふくしのはあと



No. 100

主な内容

- フードドライブ寄付食糧寄贈式
- 第17回南部町社会福祉大会
- 防災訓練
- インフォ社協
- 善意の泉

2022年 10・11月号
(令和4年)

フードドライブ寄付食糧寄贈式



フードドライブを実施した南部町名川B&G海洋センターより、食糧品を寄贈していただきました。

「フードドライブ」とは、家庭に余っている食品を寄付していただき必要としている方へ提供する活動です。そのままゴミとして捨てるのではなく、必要な方へ届けることが出来る食品ロス消滅へ向けた取り組みです。寄贈いただいた食糧は、一時的な出費などにより食糧の提供が必要な方、町内で行われているサロン活動等へ社会福祉協議会を通して提供いたします。

社協情報誌「ふくしのはあと」は、赤い羽根共同募金の配分金により発行しています。

社会福祉法人 南部町社会福祉協議会

第17回 南部町社会福祉大会

10月27日 南部町いちょうホールにおいて「第17回南部町社会福祉大会」を開催いたしました。本年も新型コロナウイルス感染予防対策として、来場者数を制限し、南部町の福祉に貢献された皆様へ各種表彰を行いました。

名誉大会長メッセージ



南部町長
工藤 祐直

第17回南部町社会福祉大会の開催にあたりまして、一言、ごあいさつを申し上げます。はじめに、本大会において表彰をお受けになられました皆さま方におかれましては、長年、社会福祉活動に携わり、町の福祉向上にご尽力いただきました。そのご功績に深く敬意を表するとともに、お喜びを申し上げる次第であります。

昨今の地域福祉を取り巻く課題は、急激な高齢化の進行をはじめ、生活困窮者の自立支援、孤立・孤独、虐待、そして災害時の要配慮者への支援など多岐にわたる他、コロナ禍もあって、ますます複雑化・深刻化しています。

町といたしましても、こうした多様な課題に直面している方々をいかに早期に把握し、適切な支援につなげていくのかは大きな課題であり、福祉関係者に期待される役割も一層大きなものとなっていることから、引き続き各種施策を進めてまいりたいと考えているところです。

人が人を支える福祉の取り組みは社会を支えることにほかならず、社会福祉協議会・民生委員・行政など関係機関をはじめ、町内会など地域の皆さまと手を携え、わたしたちが住み慣れた地域で、共に安心して暮らしていける町づくりに向けて取り組んでまいりますので、今後も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大会長メッセージ



南部町社会福祉協議会
会長 有谷 隆

第17回南部町社会福祉大会の開催にあたり、コロナウイルス感染拡大防止のため、大会の規模を縮小して執り行いますことをご理解いただきますようお願い申し上げます。

この度長年にわたり社会福祉事業の振興に多大な貢献をされました受賞者の皆様には、その功績に対し心より敬意と感謝を表する次第であります。

さて、長引くコロナ禍による外出の自粛や行動制限により、生活様式が大きく変容している中で、地域の人々の繋がりや共に助け合って生きていく「共助」の仕組みづくりが従来にも増して求められているところであります。

社会福祉協議会は、『ともに生き支えあふれあいのまちづくり』をスローガンに掲げ、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域社会」を実現するために、住民参加のもとに行政機関並びに関係団体等と連携・協働により、町民の福祉向上のための事業を展開して参りますので、今後ともご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

被表彰者一覧（順不同・敬称省略）

〈 伝達の部 〉

青森県共同募金会会長表彰

○団体（多額寄付）

・社会医療法人博進会 南部病院職員一同

〈 表彰の部 〉

○民生委員児童委員（民生委員8年以上）

・大橋 節子 ・工藤 浩二

○社会福祉施設職員（14年以上）

社会福祉法人水鏡会

・中山 和也 ・高島 華香

・菅澤 結花

○社会福祉協議会役員（9年以上）

・立花 國彦

○福祉団体役員（9年以上）

まべちの会

・川村 憲昭 ・四戸 きく

老人クラブ連合会

・藤田 仁

○社会福祉協議会職員（14年以上）

・石岡 美栄子

○高額寄付者

（表彰の部）

・市澤 春男 ・(株)青森トヨタレンタリース

（感謝の部）

・菅原 弘子 ・手づくり趣味の会やすらぎ

・(有)大坊建設大友会 ・イナムラ歯科医院

・下名久井プルタブ収集会 ・有谷 守

・三戸ライオンズクラブ



災害ボランティアセンター開設訓練

令和4年10月16日（日）南部町役場敷地内を主会場として行われた南部町防災訓練において、南部町社会福祉協議会では「災害ボランティアセンター開設訓練」を実施しました。

例年はボランティアセンター登録ボランティアや民生委員・児童委員にもご参加いただき実施していましたが、今年度はコロナウイルス感染症感染予防の為、職員のみで訓練を行いました。

災害ボランティアセンターは、災害時片付け等の支援が必要な町民の方と活動してもらうボランティアの調整を行う窓口です。平成25年9月の台風18号による馬淵川水害の際には7日間開設し県内外から延べ255名のボランティアから活動支援をしていただきました。



インフォ社協

information

生活福祉資金のお知らせ

生活福祉資金貸付制度は、金融機関や公的貸付制度からの借り入れが困難な所得の少ない世帯、障がい者や介護を要する高齢者のいる世帯等に対して、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的として資金の貸付を随時受付しています。

【基本要件】

- 世帯単位の貸付
- 連帯保証人が必要
- 民生委員の相談援助を受けることが前提
- 他制度に該当しない方
- 購入済み、支払済みのものについての貸付不可

【連帯保証人の要件】

- 原則として連帯保証人が必要です。
- ※教育支援資金については、連帯保証人は不要ですが、世帯の中に連帯借受人をたてる必要があります。

●母子・父子家庭の方へ

母子・父子家庭の方は、「母子父子寡婦福祉資金」が優先となります。詳しくは三八地域県民局地域健康福祉部（TEL0178-27-5111）へお問い合わせください。

※資金の種類によって貸付要件等が異なりますので、詳しくは南部町社会福祉協議会までお問い合わせください。

※制度に該当するとみなされ、申込みをされた場合、生活福祉資金の実施主体である青森県社会福祉協議会で審査を行い、貸付の可否を決定します。決定の後に入金されるまで1か月程度かかります。

【問い合わせ先】 南部町社会福祉協議会 電話 0178-76-2662

「除雪活動対策会議」助成金のご案内

町内で一人暮らし高齢者世帯や高齢夫婦世帯、障がい者世帯等を対象とした除雪活動の体制整備を行っている町内会に助成金を交付いたします。

町内の除雪体制を整備するため、除雪が必要な要援護者世帯の確認をおこなったり、除雪活動後の反省会を実施する場合に除雪活動対策会議助成金（1回 5,000円）を年3回まで助成いたします。除雪対策会議助成は、事前に申請が必要となりますので、詳しくは南部町社会福祉協議会までお問合せください。

除雪活動従事者の登録を行う町内会につきましては、除雪対策会議助成金のほか、ボランティア活動保険の保険料負担や融雪剤の支給もごさいます。また、新規に体制整備を行う町内会につきましては、除雪用具等の支給もごさいますので、お問合せください。

【申込先】 南部町社会福祉協議会 電話 0178-76-2662

お達者サロン参加者募集

次回の「お達者サロン」は12月に開催予定です。
事前申込みが必要となりますので、お電話でお申込みください。



日時 令和4年12月16日(金) 13時30分～15時

場所 (旧)南部町名川ドライフラワーセンター
(南部町下名久井字剣吉前川原1-19)

- | | | | |
|-------|----------|---|------------------------------------|
| ●参加費 | 無料 | ●内容 | ① 作品作り「スノードーム」
社会福祉協議会 主事 佐々木亜美 |
| ●定員 | 10名(先着順) | ② 健康講話「口腔機能維持」について
社会福祉協議会 管理栄養士 坂本健 | |
| ●申込締切 | 12月9日(金) | | |

【申込先】 南部町社会福祉協議会 電話 0178-76-2662

※お達者サロン推進事業は、赤い羽根共同募金配分金を活用しております。

無料法律相談のお知らせ

南部町民を対象とした弁護士による無料法律相談を下記のとおり開催します。土地、借金、財産相続等の法律問題を専門家に相談できるこの機会をぜひご活用ください。

日時 令和4年12月14日(水) 13時30分～

場所 南部町総合保健福祉センター ゆとりあ
(南部町大字福田字舘先25-1)

1人あたり30分程度の相談となります。
事前予約が必要となりますので、お気軽にご連絡ください。



【申込先】 南部町社会福祉協議会 電話 0178-76-2662

善意の泉 社会福祉協議会にお寄せいただいた寄付をご紹介します。



寄付金

●青森県市町村職員年金者連盟三八支部 様 5,000円

プルタブ

●竹内 司 様 3.03kg
●深貝 由子 様 2.00kg

皆様からのご寄付は、地域福祉事業のために大切に活用させていただきます。
(介護保険事業には充当しておりません。)